

科学哲学科学史研究

伊藤先生追悼特集号

第17号

稲葉 肇：伊藤和行先生業績一覧

一般論文

岡村 真紀子：Thomas Harriotの手稿‘De Infinitis’を読む—翻刻と解
釈：宇宙論に焦点を当てて—1

寄稿論文

伊勢田 哲治：IPCC報告書における主観的確率の使用と半透明ボッ
クス化25

中田 良一：紐でつるされた剛体の振動問題に関するLeonhard Euler
の解法の変遷45

インタビュー、研究ノート

鈴木 真奈：西和彦氏へのインタビュー(2022年3月23日実施)65

鈴木 真奈：西和彦氏へのインタビューに関する研究ノート77

鈴木 真奈：後藤富雄氏へのインタビュー(2022年7月29日実施) ...84

鈴木 真奈：後藤富雄氏へのインタビューに関する研究ノート ...98

翻訳

- レオンハルト オイラー：最大および最小の方法によって決定される、抵抗のない媒質中での投射体の運動について
(翻訳者：有賀 暢迪)107

追悼文

- 網谷 祐一：伊藤和行先生との思い出126
伊藤 憲二：伊藤和行さんの思い出129
小長谷 大介：日本科学史学会京都支部における伊藤先生との思い出131
斎藤 憲：伊藤和行さんの思い出134
佐野 勝彦：伊藤和行先生の思い出139
澤井 直：伊藤先生の思い出142
根本 猛：追悼、伊藤和行くん146
平清水 史暁：伊藤先生追悼文148
古川 安：集中講義と伊藤和行さんの思い出152
森田 紘平：物理学の95パーセント155
山田 俊弘：フィレンツェの「ガリレオ」から京都の地球惑星科学史まで—伊藤和行さんを偲んで—157
吉田 善哉：伊藤和行先生の思い出160

『科学哲学科学史研究』投稿規定

1. 投稿資格

1. 京都大学大学院に所属し、科学哲学・科学史を専門とする者。
2. 過去に(1)の条件を満たした者。
3. その他、編集委員会が適当と認めた者。

2. 投稿原稿の種類

1. 論文 (20,000 字以内)：オリジナルな論点を含む論文。
2. サーベイ論文 (20,000 字以内)：特定分野での研究紹介を目的とする論文。
3. 研究ノート (10,000 字以内)：オリジナルな着想について細部の詰めは残るものの、広く討論に付し、コメントを求める事を目的として書かれる論文。
4. 書評 (4,000 字程度)：当該分野にとって重要な意義を持つ著作を紹介するもの。書評の対象となる書籍は、原則洋書は刊行後 5 年以内、和書は 3 年以内とします。
5. 翻訳と翻刻・校訂 (解説を含めて 20,000 字程度)：重要な意義を持つ著作・論文などの翻訳と翻刻・校訂 (著作権・翻訳権には十分に留意してください)。

＊図表や数式については、そのスペース分相当の大まかな字数を含めて計算してください。詳細は、お送りするテンプレートとサンプルを参照してください。

3. 掲載までの流れ

1. 投稿の申込について：7 月末日までに、論文・サーベイ論文・研究ノートの場合には題目に 800 字程度の概要を添えて、書評は予定の著作名を挙げて申し込んでください。翻訳と翻刻・校訂は予定の著作・論文等の表題に 400 字程度の概要と、著作権・翻訳権の説明を添えて申し込んでください。必ず所属とメールアドレスを付けてください。後日 TeX のテンプレートを事務局からお送りいたします。
2. 原稿の提出について：論文は 9 月末日までに、他のものは 10 月末日までに完成した原稿を、編集事務局にメールで提出してください。論文の場合は 200 語以内の英文要旨も添えて提出してください (サーベイ論文, 研究ノート, 書評,

翻訳と翻刻・校訂の場合、要旨は不要) 期限を過ぎた原稿は受理しませんので、ご注意ください。論文受理通知が三日以内に届かない場合は、お手数ですが再度送信をお願いします。

3. 審査について：すべての原稿について、編集委員が掲載の可否を判断します。特に論文の場合、ブラインドレフェリー制による査読を行います。掲載の可否は査読が終わり次第、(掲載が決定した論文の場合、論文掲載決定通知書と合わせて) メールでお知らせします。
4. 原稿の修正について：事務局が指定した期日までに、著者は修正済み原稿を再度事務局へ送付してください。

4. 執筆形式

1. 論文のファイルは原則 TeX を用いて作成してください。テンプレートは事務局が用意します。
2. 論文については、ブラインドレフェリー制による査読を行うため、本文中で著者を特定できるような表現(「拙論」など)を避けてください。
3. 参考文献表の形式は事務局が用意するテンプレートにしたがってください。
4. 和文の句読点は全角コンマ、ピリオドに統一してください。
5. 本文中のアルファベット、アラビア数字は半角にしてください。
6. 注は、後注ではなく脚注にしてください。

5. 抜き刷りについて

1. 抜き刷りは別途有料です。[第 13 号より紙版の発行は休止しており、電子版のみの発行になっています。]

6. 京都大学学術情報リポジトリへの公開について

1. 本誌に掲載された論文などはすべて、京都大学学術情報リポジトリへ登録し、公開いたします。詳しくは <http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/> をご参照ください。

7. 編集委員会・事務局

1. 編集委員会は、編集委員長、数名の編集委員から構成されます。
2. 編集事務局は、京都大学大学院文学研究科現代文化学専攻科学哲学科学史専修に所属する院生から構成されます。

8. 連絡先

606-8501

京都市左京区吉田本町京都大学大学院文学研究科現代文化学系共同研究室内
『科学哲学科学史研究』編集事務局

E-mail: editor.phsstudies@gmail.com

PHS Studies

Special Issue in Memorial of Professor Kazuyuki ITO
No. 17 (2023)

Hajime INABA: Bibliography of Professor Kazuyuki Ito

ARTICLES

Makiko OKAMURA: Transcription and Interpretation of Thomas Harriot's Manuscripts 'De Infinitis': Focused on His Concept of the Universe1

MEMORIAL ARTICLES

Tetsuji ISEDA: The Use of Subjective Probability in the IPCC Reports and Translucent-Boxing25

Ryoichi NAKATA: Transition of Leonhard Euler's Solutions about Vibration of a Rigid Body Suspended by a String45

INTERVIEWS WITH A RESEARCH NOTE

Mana SUZUKI: The Interview with NISHI Kazuhiko(23/3/2022)65

Mana SUZUKI: The Note about the Interview with NISHI Kazuhiko
77

Mana SUZUKI: The Interview with GOTO Tomio(29/7/2022)84

Mana SUZUKI: The Note about the Interview with GOTO Tomio98

TRANSLATION

Leonhard Euler: De Motu Projectorum in Medio non Resistente, per Methodum Maximorum ac Minimorum Determinando(Translated by Nobumichi ARIGA)107

MEMORIAL ESSAYS

- Yuichi AMITANI:In Memory of Professor Kazuyuki Ito126
Kenji ITO:Reminiscence129
Daisuke KONAGAYA:Memories with Professor Ito at the Kyoto Chapter
of the History of Science Society of Japan131
Ken SAITO:Memories of Kazuyuki Ito134
Katsuhiko SANO:In Memory of Professor Kazuyuki Ito139
Tadashi SAWAI:Memories of Prof. Kazuyuki Ito142
Takeshi NEMOTO:Memory of Dear Kazuyuki Ito146
Fumiaki HIRASHIMIZU:Professor Ito in My Memory148
Yasu FURUKAWA:Reminiscences of Intensive Courses and Professor
Kazuyuki Ito152
Kohei MORITA:95 per Cent of Physics155
Toshihiro YAMADA:From 'Galileo' in Florence to the History of
Geoscience in Kyoto:Remembering Professor Kazuyuki Ito
.....157
Yoshinari YOSHIDA:In Memory of Professor Kazuyuki Ito160

編集委員会

編集委員：

網谷祐一（会津大学）
有賀暢迪（一橋大学）
伊勢田哲治（京都大学）
伊藤憲二（京都大学）
稲葉肇（明治大学）
海田大輔（京都大学）
杉本舞（関西大学）
瀬戸口明久（京都大学）
松王政浩（北海道大学）

編集事務局：

606-8501

京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科現代文化学系共同研究室内
E-mail: editor.phsstudies@gmail.com

『科学哲学科学史研究』 第17号（2023年）

2023年3月31日 発行

編集・発行 京都大学文学部科学哲学科学史研究室
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
E-mail: editor.phsstudies@gmail.com